

最高裁判所 (第二小法廷) 平成●●年 (〇〇) 第●●号・平成●●年 (〇〇) 第●●号
課税処分取消請求上告及び上告受理申立事件
国側当事者・国
平成20年9月12日棄却・不受理・確定

決 定 事 項

上告人の上告理由が民事訴訟法312条1項又は2項 (上告の理由) 所定の場合にあらず、申立人の上告受理申立ての理由は民事訴訟法318条 (上告受理の申立て) に規定する事件にあたらないとして、上告人の上告が棄却され、上告受理申立てが上告審として受理されなかった事例

決 定 要 旨

省略

(第一審・那覇地方裁判所 平成●●年 (〇〇) 第●●号 平成19年10月30日判決、本資料257号-201・順号10810)

(控訴審・福岡高等裁判所那覇支部 平成●●年 (〇〇) 第●●号 平成20年4月17日判決、本資料258号-85・順号10943)

決 定

上告人兼申立人	甲
被上告人兼相手方	国
同代表者法務大臣	保岡 興治
同指定代理人	河本 哲志

裁判官全員一致の意見で、次のとおり決定。

第1 主文

- 1 本件上告を棄却する。
- 2 本件を上告審として受理しない。
- 3 上告費用及び申立費用は上告人兼申立人の負担とする。

第2 理由

- 1 上告について

【決定】

民事事件について最高裁判所に上告をすることが許されるのは、民訴法312条1項又は2項所定の場合に限られるところ、本件上告理由は、違憲をいうが、その実質は事実誤認又は単なる法令違反を主張するものであって、明らかに上記各項に規定する事由に該当しない。

- 2 上告受理申立てについて

本件申立ての理由によれば、本件は、民訴法318条1項により受理すべきものとは認められない。

平成20年9月12日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官 津野 修

裁判官 今井 功

裁判官 中川 了滋

裁判官 古田 佑紀